

プロフィール

●北村 陽 (きたむら よう) チェロ

2004年生まれ。2024年エネスク国際コンクール・チェロ部門で日本人初優勝、同年カザルス国際賞第1位、23年ブラームス国際コンクール第1位。英国の弦楽器専門誌『The Strad』にて「卓越した音楽的才能の持ち主」と評されました。日本音楽コンクール第1位および増沢賞など5つの賞を受賞。22年ハチャトゥリヤン国際コンクール第2位、17年若い音楽家のためのチャイコフスキーコンクールで満場一致の優勝。

9歳でオーケストラと初共演し、10歳で初リサイタルを行いました。その後、ソリストとして、多くのオーケストラ、指揮者と共に演奏しています。

テレビ朝日「題名のない音楽会」、BSテレ東「エンター・ザ・ミュージック」、BS朝日「はじめてのクラシック 2019 チャイコフスキーの魅力」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」「ブラボー！オーケストラ」、Tokyo FM「Blue Ocean」、ABCラジオ「ザ・シンフォニーホール・アワー」などに出演。

出光音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、ホテルオークラ音楽賞、ヴェルビエ音楽祭アカデミーでジャン=ニコラ・フィルメニッヒ賞、服部真二音楽賞 Rising Star、坂井時忠音楽賞、アリオン音楽賞、霧島国際音楽祭賞受賞。

遠山基金、宗次エンジェル基金／日本演奏連盟、ヤマハ音楽振興会、ジェスク音楽振興会、江崎スカラシップより奨学金を授与され、2023、24年度ローム ミュージック ファンデーション奨学生、第52回江副記念リクルート財団奨学生。

現在、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ・コースで堤剛、ベルリン芸術大学でイエンス=ペーター・マインツに師事。これまでに山崎伸子、室内楽を磯村和英諸氏に師事。

25年より庄司紗矢香率いる室内楽グループ「新ダヴィッド同盟」の新メンバーとして加入。使用楽器は上野製薬株式会社より1668年製 A. Casini、弓は住野泰士コレクションより J.P.M. Persoit を貸与されています。

●園田 奈緒子 (そのだ なおこ) ピアノ

桐朋学園大学音楽学部演奏学科、ベルリン芸術大学を卒業。ピアノを渡辺ようこ、勝部裕子、奥村洋子、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、江澤聖子、ライナー・ベッカーらに、室内楽を小澤英世、マルクス・ニコシュ、タベア・ツインマーマン、ナターリア・グートマンらに師事。

在学中よりヨーロッパでの演奏活動を始め、2009年ベルリン・フィルハーモニーにてベルリン交響楽団と共に演奏し、ベルリンデビュー。現在、講師としてベルリン芸術大学にて後進の指導にあたるほか、ミュンヘン国際音楽コンクール、チャイコフスキーコンクール、エリザベート王妃国際音楽コンクールをはじめとする国際コンクールに参加する学生たちのピアノパートナーを務めています。

ドイツ・マルクノイキルヒェン国際音楽コンクール(13、19年)、ルトスワフスキ国際チェロコンクール(15、18年)、チャイコフスキーコンクール(15、19年)にて最優秀伴奏賞を受賞。

デュオパートナーとしてヨーロッパ各地の音楽祭に出演するほか、マリイン斯基劇場、ウィグモアホール、カーネギーホール等にてリサイタルに出演。ドイツのラジオ放送(RBB、WDR、BR)、ZDFテレビ、イギリスBBCラジオ、NHK-FM等でも演奏が取り上げられています。ベルリン在住。